

市役所での取り組みについて

市では、令和2年度に第2次南島原市役所地球温暖化防止対策実行計画(事務事業編)を策定し、市役所における燃料、電気、水道、紙などの使用量削減に努めています。また、公共施設の照明器具や街路灯のLED化にも取り組んでいます。

令和4年度にはごみ焼却熱利用の実証事業や給食センターの生ごみの発酵分解処理などにも取り組む予定です。

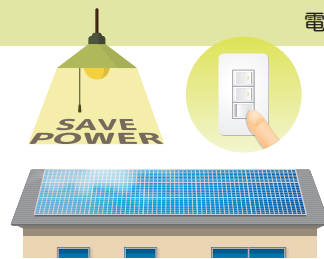
いま私たちにできること…

地球温暖化防止のためには、二酸化炭素(CO2)などの温室効果ガスの排出を抑えることが重要です。小さなことでも、一人ひとりの取り組みが大きな力となります。

行政だけでは脱炭素社会の実現は困難です。市民の皆さんも自分ができることから、温室効果ガスの排出削減の取り組みをお願いします。

節電につとめよう

電気を作り出す際に多くのCO2が排出されています



- 冷房機器の設定室温は28℃、暖房機器の設定室温は20℃を目安にしましょう。
- 誰もいない部屋の電気は消しましょう。
- 使わない電化製品は、コンセントを抜くなど、待機電力を削減しましょう。
- 家電を買い替えるときは、省エネタイプのものを選びましょう。
- 再生可能エネルギーの導入を進めましょう。

ごみの減量化につとめよう

ゴミを燃やすときに多くのCO2が排出されています



- マイバッグを持ち歩き、買い物をする際は、省包装のものを選びましょう。
 - 生ごみは、十分に水分を切って捨てましょう。
 - リサイクルできるものは、資源ごみに出しましょう。
- 分別については、自治会を通じて配布した『家庭ごみの正しい分け方・出し方』でご確認ください。市ホームページにも掲載しています。

節水につとめよう

浄水場や湯沸かし器、下水処理場では、多くの電気を使用します



- シャワーの出っぱなしを止めるなど、水は大切に使いましょう。

マイカー利用を控えよう

CO2の排出を抑制しましょう



- 自動車の使用を控え、なるべく公共交通機関や自転車・徒歩で移動しましょう。

温室効果ガスを吸収する環境を増やそう

ヒートアイランドの緩和



- 植物を育て、地域の緑を増やしましょう。

環境課(衛生センター庁舎) ☎73-6644

特集 南島原市ゼロカーボンシティ宣言について

～2050年までに二酸化炭素排出量 実質ゼロを目指します!!～

南島原市は、令和3年12月13日に2050年脱炭素社会の実現に向けたまちづくりに取り組む決意表明として、『ゼロカーボンシティ』を宣言しました。

今後、温室効果ガスの排出量や再生可能エネルギー導入の可能性などを調査した上で、脱炭素社会実現に向けた計画を策定し、地域の特性を生かした具体的な取り組みを展開していきます。



南島原市ゼロカーボンシティ宣言

18世紀の産業革命以降、私たち人類は石油や石炭等の化石燃料を大量に消費し、経済活動の拡大とともに豊かさや便利さといった恩恵を享受してきました。

一方で、地中から取り出された化石燃料は、燃焼の過程で大量の温室効果ガス(主に二酸化炭素)を生成し、大気中の濃度が上昇することで地球温暖化を引き起こしていると言われています。

世界各地では、地球温暖化に起因するとみられる豪雨や干ばつ、それらによる洪水や熱波、森林火災等の異常気象が頻発化、激甚化しながら発生しており、農作物や生態系への影響についても懸念が広がっています。

こうした状況を受け、2015年の国連気候変動枠組条約締約国会議(COP21)において、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」との長期目標を掲げた「パリ協定」が合意に達し、多くの国々で共有されました。

また、我が国においては、政府が2020年10月に「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を宣言し、2021年5月には、これを基本理念として盛り込んだ改正地球温暖化対策推進法が成立しました。現在においては、多くの地方公共団体や民間企業において活発な動きが見られるようになっており、官民を挙げた脱炭素化の取組は大きなうねりとなって全国に波及しています。

南島原市においても、地球温暖化は喫緊の重要課題であり、市民の健康や生命、財産を守るばかりでなく、この豊かで美しい郷土を未来に引き継いでいくためにも、脱炭素化の取組を早急かつ強力に推し進めていかなければなりません。

ついでに、本市も国際社会と歩調を合わせ、2050年脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくことの決意として、ここに「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

令和3年12月13日

南島原市長 **松本政博**



ゼロカーボンシティ宣言をする松本市長



電気自動車を活用したカーボンニュートラルの実現および災害対応に関する連携協定



給電デモンストレーションの様子

ゼロカーボンシティとは…

ゼロカーボンシティとは、2050年までにカーボンニュートラル[温室効果ガスの排出量を実質ゼロ(排出量と森林などによる吸収量の差し引きがゼロ)]にすることを表明した自治体のことです。

南島原市は、国内の地方自治体で502番目、県内で8番目の表明となります。令和4年3月31日現在、全国で679自治体が表明しています。

